

市立小に大判地図寄贈

NPO法人草津市内業者会

全13校対象 地域教育を支援



橋川市長(右)から感謝状を受ける松本理事長(中央)、(後列右から)副理事長の辻氏、山本氏、吉川氏



【写真・上】草津小学校の4年生児童、橋川市長らと、【写真・下】「滋賀県はどこ?」「日本のまわり、海がいっぱい!」興味津々で贈られた地図に集まる児童ら

草津市内の建設に関わる事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福

祉・災害救援活動を推進する市内業者会(略称「NPO法人草津市内業者会」)(理事長・松本浩治(津田工務店滋賀代表取締役)は、

拠点とする草津市の教育事業への支援として、市立の小学校全13校を対象に、大判日本地図の寄贈を行った。

同法人は平成20年の設立以来、災害時の緊急出動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛企画、教育事業への寄付など幅広く草津市への支援活動を行っている。教育事業へは要望の多い教材を毎年寄贈、

これまでに小中学校へホールや、幼稚園・保育所へ絵本などを贈っている。寄贈を受ける市立小学校

を代表し、草津小学校(草津3丁目)で30日に行われた贈呈式には、草津市より橋川渉市長、三木逸郎教育長、浅見善廣都市建設部長、草津小の深田雅也校長や教職員、NPO草津からは松本理事長、辻夫副理事長、吉川巧副理事長、山本雅将副理事長らが出席。また新学年から地理について学ぶ予定の草津小学校4年生児童31名が来客を拍手で迎えた。

松本理事長が「子どもたちの教育の一助となれば幸いです。防災や安全、福祉や教育など多方面での支援活動を今後も継続して参ります」と述べ、贈呈目録を橋川市長に、代表児童2名に地図の現物を手渡した。

橋川市長からは「教育への熱心なご支援に感謝します。頂いた大きな立派な日本地図を、小学校で地図を通して日本の大切さを学ぶため大いに活用させて頂き、子どもたちの目にもいつか、子どもたちに対する関心を常日頃から高めていけるよう取り組んで参りたい」との言葉とともに感謝状が贈られた。

続いて、児童代表が「素敵な日本地図をありがとうございます。毎日見て、日本のことについて頑張っ勉強したいです。学校のみならずで大切に使用します」とお礼の言葉を述べた。

その後、縦2頁、横1・5頁の大きな地図がお披露目されると児童達からは一斉に歓声上がり、取り囲んで口ぐちに感想を言い先生らに質問していた。